

2014年12月1日発行

一般社団法人 日本顎顔面補綴学会

*Japanese Academy of Maxillofacial Prosthetics*

# Newsletter No. 20

## Maxillofacial Prosthetics

発行人 鰐見進一

編集 広報委員会

事務局 〒135-0033 東京都江東区深川2-4-11 一ツ橋印刷(株) 学会事務センター内

Tel : 03-5620-1953 Fax : 03-5620-1960

E-mail : max-service@onebridge.co.jp

### 鰐見理事長就任、新執行部スタート !!

#### 新理事長挨拶



理事長 鰐見 進一

平成26年6月より歴史ある本学会の理事長を  
拝命いたしました。

日本顎顔面補綴学会は、良性および悪性腫瘍、先天疾患（口唇口蓋裂など）、外傷などによって失われた口腔顎顔面領域の欠損に対し、機能と形態を回復し、患者さんが快適な社会生活をおくれることを目的とする学会です。1976（昭和51）年に第1回の研究会が開催され、1984（昭和59）年からは歯科における学際的で専門性の高い学会として活動を続けております。

顎顔面領域は複雑で高度な機能と審美性を要求されることから、患者さんが満足できる欠損部の

機能と形態の回復を達成することは容易ではありません。しかしながら、本学会に所属する歯科補綴、歯科口腔外科、形成外科、歯科技工、歯科衛生、摂食嚥下、言語、心理など多くの分野の研究者達は、患者さんの希望を親身に受け止め専門領域の垣根を越えて連携して顎顔面補綴治療の進歩発展を遂行するとともに、広く社会に啓発しながら患者さんの治療に貢献すべく日々努力しております。

先人たちの築いてきた顎顔面補綴治療の知見を継承し、後輩達に伝承していくことにより、我々の専門性を必要とする患者さんになると考えております。

現在、顎顔面補綴領域における大きな問題として以前よりエピテーゼ材料の主軸である海外のシリコーン材の使用が薬事法により困難になっており、積極的な診療体制がとれない状態でした。そこで、医療委員会が中心となり、学会主導により各会員施設の協力の下、国産のシリコーン材の開発を急ぎ、患者さんのために一日も早い商品化を望んでおります。

また、今期は若手研究者達の育成事業を計画しており、現在特命委員会を中心に検討中です。

さらに、本学会の専門性を社会に周知させてい

くためにも、認定医制度の充実が必要であり、認定審査委員会が中心となり認定歯科医、認定言語聴覚士、認定歯科衛生士、認定歯科技工士の増加に努めています。

微力ながら学会運営に取り組んでいく所存ですので、今後とも会員各位のご理解ご協力の程何卒宜しくお願ひ致します。

## 新理事・新委員会紹介

### 理 事

理事長：鰐見 進一

副理事長：高 橋 哲

理 事：井原功一郎、大山 哲生、尾澤 昌悟、  
小野 高裕、古賀 千尋、後藤 昌昭、  
小山 重人、佐々木啓一、隅田 由香、  
関谷 秀樹、高 橋 哲、館 村 卓、  
中島 純子、秀島 雅之（会計担当）、  
鰐見 進一、松山 美和、山森 徹雄、  
吉 岡 文、米原 啓之、  
谷 口 尚（次期総会長）

監 事：石上 友彦、谷 口 尚

庶務幹事：槇原 紘理

### 編集・用語検討委員会

委員長：山森 徹雄

委 員：猪野 照夫、井原功一郎、尾澤 昌悟、  
隅田 由香、武 部 純、館 村 卓、  
堀 一 浩、松山 美和

当委員会の今期の活動としましては、学会誌である「顎顔面補綴」37巻2号、38巻1号、2号の発行と専門用語解説の改訂を予定しています。様々な分野に精通されている新たな2名の委員を迎える、「顎顔面補綴」誌面の更なる充実を図って参りますので、是非、積極的なご投稿をお願いいたします。

### 国際交流委員会

委員長：尾澤 昌悟

委 員：菅井 敏郎、松山 美和、武 部 純、  
大山 哲生、吉 岡 文

本学会を取り巻く国際情勢は大きく変化しており、そのひとつは本学会と国際顎顔面リハビリテーション学会（ISMR）との関係強化です。本学会は ISMR と団体会員契約を結んでおります。これは本学会の高い研究レベルを世界にアピールしていくために、我々は指定演者の推薦や参加費の割引等を受けられること、また団体会員費を納入し学会として ISMR をサポートするという相互扶助の関係です。現在 ISMR の財政基盤は弱く、国際学会を定期的に開催するには地域との連携が必要となっています。今年の ISMR の学会は中国の第四軍医大学が主管で、古都西安にて9月に行われました。会員の皆様の国際的な活躍の手助けをするのも私たち国際交流委員会の仕事と考えております。今後も学会誌やホームページ等を利用して、隨時ご案内をさせていただきます。

### 医療委員会

委員長：隅田 由香

委 員：佐々木啓一、大山 哲生、高橋 英和、  
大木 明子、常國 剛史、吉 岡 文、  
古賀 千尋、山口 能正

幹 事：乙丸 貴史

今期は以下の業務を予定しております。多岐に亘る内容ですが、全力で取り組む所存です。

1. シリコーン材料実験継続のための実験参画受理などの手続きおよび材料手配
2. 薬事承認を得るための多方面からのアプローチ
3. 顎顔面補綴治療の基本手技の解説を作成
4. 他学会との共同申請によるサージカルオブチュレータの保険収載と、欠損病名なしでの顎補装着および調整料算定を可能にするためのアプローチ。

## 広報委員会

委員長：松山 美和

委 員：大木 明子，関谷 秀樹，中島 純子，  
堀 一浩，宮本 哲郎，吉岡 文

~~~~~

広報委員会のむちな業務はニュースレターの発行と学会ホームページの管理・更新です。今期はニュースレター第20～23号の発行を予定しています。また、ホームページは会員対象だけでなく、広く一般の人々に情報発信できるツールとなるように、迅速、適切かつ正確な情報の掲載を目指します。特に認定医・認定士一覧、英語版、一般の皆様のページなどを充実させていく予定です。

## 認定医検討委員会

委員長：古賀 千尋

委 員：佐々木啓一，皆木 省吾，鰐見 進一，  
槇原 絵理，瀬戸 純子，山口 能正，  
熊倉 勇美

~~~~~

本委員会では、認定歯科衛生士・歯科技工士・言語聴覚士の暫定期間が終了したことを受け、審査用評価シートを作成し、来年度の試験に備えたいと考えております。来年度はすべての認定試験がスタートする記念の年になるのでその準備と、受験者増を目指して活動いたします。

## ガイドライン作成委員会

委員長：小野 高裕

委 員：中島 純子，宮前 真，大山 哲生，  
服部麻里子，山本 雅章

幹 事：山本 雅章

~~~~~

活動目標は、顎顔面補綴診療ガイドライン2013年度版の完成とその普及です。

従来のワーキンググループは10名くらいの委員でしたが、今回はあえて少人数にし、最後の仕上げをしたいと思います。各委員にもその旨お願いしました。しかし、ガイドラインの性質上、学会全体にご援助をお願いする状況が出てくることが考えられ、その節はご支援をお願いいたします。

## 学術委員会

委員長：小山 重人

委 員：小野 高裕，隅田 由香，関谷 秀樹，  
大山 哲生，西脇 恵子

幹 事：山内 健介

~~~~~

新しい学術委員会は、教育研修会の企画、優秀論文賞選定など今までの仕事を引継ぎ発展させていくとともに、まずは学術大会における抄録や発表形式の整備から行なっていきたいと考えています。

## 会則検討委員会

委員長：関谷 秀樹

委 員：谷 口 尚，山森 徹雄，高 橋 哲，  
向 山 仁，尾澤 昌悟，城下 尚子

~~~~~

現在、前委員長の塩入重彰先生のご指導をいただいております。新任委員が会則の重要性を再認識したうえで、各委員会と連携して会則の細部の修正・追加等を検討していくことを目標とします。

## 学際連携委員会

委員長：高 橋 哲

委 員：久保 吉廣，小山 重人，熊倉 勇美，  
瀬戸 純子，山口 能正，西脇 恵子

~~~~~

今期の活動方針は、外科、補綴と歯科技工士、歯科衛生士、言語聴覚士と学際的な連携活動を強化することです。

## 特命委員会

委員長：後藤 昌昭

委 員：鰐見 進一，谷 口 尚，石上 友彦，  
佐々木啓一，塩入 重彰

~~~~~

特命委員会では、次世代の学会を牽引することとなる若手研究者を海外で研修していただく制度を検討しています。

本学会の将来にとって必要かつ重要なことです。具体的には、選考基準や財源について他の委員会とも打ち合わせていく予定です。

## 第32回総会・学術大会案内



総会長 谷口 尚  
(東京医科歯科大学)

\*\*\*\*\*

会期：平成27年6月18日(木)～20日(土)

会場：東京医科歯科大学 M&Dタワー2階

鈴木章夫記念講堂

〒113-8510 東京都文京区湯島1-5-45

メインテーマ：「温故知新」

<http://www.tmd.ac.jp/grad/mfp/cn11/index.html>

\*\*\*\*\*

一般社団法人日本顎顔面補綴学会 第32回総会・学術大会を東京医科歯科大学(TMDU)顎顔面補綴学分野が担当させていただくことになりました。

顎顔面補綴学を今一度再考し、更なる飛躍を未来に遂げるための学術大会をという願いを込めまして、メインテーマは「温故知新」と致しました。

まず、特別講演Ⅰとして、愛知学院大学歯学部有床義歯学講座教授、愛知学院大学歯学部長の中貴信教授を講師にお迎えし、「私のライフワークにおける半側欠損」のタイトルにてご講演いただきます。数え切れないほどの臨床経験からの多くのご示唆やご助言を賜りますとともに、日本顎顔面補綴学会の創設にご尽力いただき、深い愛情にて本学会を育てて下さった先生ならではの多くの逸話、そして顎顔面補綴にかける情熱、想い、願いを伺うことが出来れば、会員一同にとりまして有益な時間となることと存じます。

また、特別講演Ⅱとして、東京医科歯科大学(TMDU)インプラント・口腔再生医学分野の春

日井昇平教授を講師にお迎えし、「骨造成のための新しい戦略」のタイトルにてご講演いただきます。骨造成に関する最新の情報とともに、ご講演を通して本学会へのご提言を示していただけるものと楽しみにしております。

また、本大会と併催される第20回教育研修会を「中咽頭部への補綴的アプローチ」というタイトルにて準備していただいております（小山重人学術委員会委員長）。講師には、館村卓先生（一般社団法人TOUCH）、臼井英治先生（うすい歯科）、隅田由香先生（東京医科歯科大学(TMDU)顎顔面補綴学分野）が予定されており、中咽頭部領域の生理、補綴処置さらに機能再建など、本学会会員にとりまして密接に関係する話題での企画をいただいております。こちらもまた、実り多い研修会になるものと確信しております。

恒例の会員懇親会は、2015年6月19日(金)に、学会会場のM&Dタワーの最上階の26階のファカルティーラウンジにて開催いたします。多くの会員にご参加いただき、スカイツリーを含めた東京の夜景とともに、皆様の洗練された会話と熱いディスカッションに満ちた楽しいひと時となりますよう、願っております。

当分野が日本顎顔面補綴学会の準備運営を携わさせていただきますのは、2002年に沖縄にて開催された第5回 International Society for Maxillofacial Rehabilitation と第19回日本顎顔面補綴学会学術大会とのジョイントミーティング(Co-President Takashi Ohyama and Ian M. Zlotolow)以来です。

今回、隅田由香準備委員長を中心として顎顔面補綴学分野医局員一丸となりまして鋭意、準備を進めております。本総会・学術大会のメインテーマであります「温故知新」に因み、顎顔面補綴学会の本来の姿に立ち返りまして、発表後の質疑応答時間を長く設けることを考えております。そのため、ご発表いただけます演題数に限りが出ることを想定し、ポスター発表も本学会にて初めて企画致します。ご登録いただきますご演題の発表形式（口頭発表あるいはポスター発表）につきましては、準備委員会にご一任いただきますことを、

何とぞご理解ご承諾いただければ幸いです。

第32回総会・学術大会が数多くのご発表と討論により、これから顎顔面補綴を推進する機会となれば幸いです。

末筆となりましたが、本大会に向けてご援助、ご協力いただきしております関係各位へ心より感謝申し上げます。

### 学会ロゴマーク決定



一般社団法人  
**日本顎顔面補綴学会**  
Japanese Academy of Maxillofacial Prosthetics

一般社団法人化を記念しまして、広報委員会主導で学会ロゴマークの作成を行ってきました。学会ホームページで広く一般にも募集したところ、23名45作品の応募がありました。広報委員会による1次審査、理事会による2次審査を経て、6月の社員総会にて、上記の作品に学会ロゴマークを最終決定いたしました。

文字や色などに多少の修正を加えまして、商標登録していく予定です。

### 関連学会報告

#### The Xi'an Conference of ISMR

Xi'an中心部のSofitelホテルで行われたISMRは、現地の第四軍医大学の主管で盛大に行われた。開会式は、現地参加者と約50人の海外参加者で会場が埋まり、趙教授のオープニングスピーチと、ISMR会長のReintsema先生の挨拶があった。日本からは8名が参加した。

特筆すべきは、UCLAのBeumer先生への感謝のしるしとして胸像が披露されたことだつ



た。これは、これまでの中国とBeumer先生との関係の深さを象徴するもので、同時にこの大会がISMR主体ではなく、あくまでもUCLAのBeumer先生と中国側の学会であることを示すものだった。

なお、次のISMRは2016年5月5日～8日、セルビアのベオグラードにて開催予定である。

(国際交流委員長 尾澤昌悟)

### EPA2014

9月25日(木)～27日(土)に38<sup>th</sup> Annual Conference of the European Prosthodontic Association (EPA2014)がイスタンブールのWyndham Istanbul Kalamis Marina Hotelで開催された。日本補綴歯科学会は現在、EPAとの交流協定締結を目指しており、多くの会員に参加を呼び掛け、日本から66名が参加した。キーノート講演12題、ワークショップ4題、一般口演120題、ポスター発表245題であった。日本のキーノート・スピーカーとして大久保力廣教授(鶴見大学)が講演された。

この大会では「顎顔面補綴」関連の演題が23題と多かった。本JAMP会員による発表も多かったが、トルコやギリシャなどから上顎欠損症例、下顎欠損症例などの発表があった。このEPA2014では、ヨーロッパの「顎顔面補綴」の現状が把握でき、最新情報が得られ、われわれJAMP会員にとって有意義な情報収集や意見交換を行うことができた学会だった。

(広報委員長 松山美和)

# Newsletter No. 20

## Maxillofacial Prosthetics

### 関連学会のご案内

- 第33回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会  
日 程：1月29日（木）～30日（金）  
会 長：桐田忠昭（奈良県立医科大学）  
会 場：奈良県新公会堂  
問合せ：〒634-0813 奈良県橿原市四条町840  
奈良県立医科大学口腔外科学講座内  
TEL：0744-29-8875
- 第25回日本頭頸部外科学会総会・学術大会  
日 程：1月29日（木）～30日（金）  
会 長：河田 了（大阪医科大学）  
会 場：コングレコンベンションセンター  
問合せ：〒569-8686 大阪府高槻市大学町2-7  
大阪医科大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科  
TEL：072-684-6247
- 第34回日本口腔インプラント学会  
近畿・北陸支部学術大会  
日 程：1月31日（土）～2月1日（日）  
会 長：別所和久（京都大学）  
会 場：京都大学百周年時計台記念館  
問合せ：〒602-8444 京都市上京区西北小路町241-2  
今出川前田歯科医院  
TEL：075-441-8668
- 第32回日本口腔インプラント学会  
九州支部学術大会  
日 程：1月31日（土）～2月1日（日）  
会 長：澤瀬 隆（長崎大学）  
会 場：長崎ブリックホール  
問合せ：〒852-8588 長崎市坂本1-7-1

長崎大学大学院口腔インプラント学分野  
TEL：095-819-7600

- 第38回日本嚙下医学会  
日 程：2月6日（金）～7日（土）  
会 長：大森孝了（福島県立医科大学）  
会 場：コラッセふくしま  
問合せ：〒960-1295 福島市光が丘1  
福島県立医科大学耳鼻咽喉科学講座  
TEL：024-547-1111
- 日本歯科医学会学術集会（世界会議 2015）  
日 程：3月13日（金）～15日（日）  
会 長：大久保満男（日本歯科医師会）  
会 場：東京国際フォーラム  
問合せ：〒102-0073 千代田区九段北4-1-20  
日本歯科医師会 学術課  
TEL：03-3262-9214
- 第69回NPO法人日本口腔科学会学術集会  
日 程：5月13日（水）～15日（金）  
会 長：森田章介（大阪歯科大学）  
会 場：大阪国際会議場  
問合せ：〒540-0008 大阪市中央区大手1-5-17  
大阪歯科大学口腔外科学第1講座  
TEL：06-6910-1509

### 皆様のご意見をお寄せください。

一般社団法人日本顎顔面補綴学会広報委員会  
委員長 松山美和  
委員 大木明子、関谷秀樹、中島純子、  
堀一浩、宮本哲郎、吉岡文  
E-mail: max-service@onebridge.co.jp